

『誰でもできるタグラグビー トライセットキャンペーン』

実施レポート

学校名	群馬県太田市立尾島小学校	実施日	平成25年11月
担当教員名	金澤 英明	実施学年・人数	6学年(3クラス 91名)
学校・学級紹介	<p>本校は群馬県の南部に位置する太田市にある全校児童489名の学校である。校歌の作詞者が北原白秋である。「期待登校・満足下校」をスローガンに掲げ、子ども達は元気に学校生活を送っている。図書室の本も充実していて、昨年度は「行列のできる図書室」で文部科学大臣賞を受賞した。</p> <p>第6学年の児童は、明るく活発で、体を動かすのがとても好きな子たちである。そのため体育の授業も毎回意欲的に参加し、新しい技の習得を目指している。今回は、新たにタグラグビーの授業を行うことを知り、とても興味を持ち、体育の授業に臨んでいた。</p>		
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・タグ取りオニごっこ ・2人組 手をつないでタグ取り(5～10秒×4回) ・2人組 じゃんけん(価値が逃げて、負けがおいかける 一直線上切り替え練習) ・チームでパス練習(内側向き・外側向き) ・1対1 ・ゲーム(4～5人組のゲーム) 		
指導のポイント	<p>タグを取りに行つて、相手の体に指をぶつけて、突き指をしてしまう児童が数名いたので、タグの先を狙つて手を伸ばす指導を授業の導入で重点的に行つた。最終的には子ども達がゲームを楽しめるように、授業を重ねていく間に少しずつルールを紹介し、それにあつたスキルゲームを取り入れていったので、複雑なルールの理解に苦しむ児童は少なかった。</p> <p>ゲームを効果的に行うために4人から5人のチーム編成として、練習をした。ルールが難しいので、4チームつくり、ゲームをしていない2チームに審判をさせるようにして、自治的に運営ができるように指導した。</p>		
感想・印象 今後の展望	<p>教科担任制で指導を行っているため、一人の指導者が全クラスの指導にあつたことは良かった。ゲームを楽しむために必要なスキルは何かを常に考え、毎回の指導に当つた。慣れてくると児童たちから「スローフォワード」や「ノックオン」、「タグ3」などの声が活発に行き交ひ、とても楽しく自治的にゲームを行うことができるようになった。</p> <p>指導上難しいと感じた点は、ディフェンスの作戦や練習は児童自ら考え、どんどん上達していくが、オフェンスの作戦は教師が様々なパターンを示すが、なかなか上手に練習ができず定着は難しかった。</p> <p>今後はオフェンスのドリルをたくさん取り入れた練習計画を立てていくことが大切である。</p>		